

情報連絡員報告総括表(令和8年4月期)

富山県中小企業団体中央会

業種	項目	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備稼働率	雇用人員	業界の景況	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
食料品	醤油・味噌製造業	→	→	↗	→	↘	→	→	→	↘	<ul style="list-style-type: none"> ・包装資材等の価格上昇が継続しており、食品事業者の負担増加に繋がっている。 ・製造ラインや配送ドライバーの人員が足りないため、繁忙期に製造できないケースが発生しており、人手不足が深刻化している。
	パン製造業	↘	→	→	→	↘	↘	↘	→	↘	<ul style="list-style-type: none"> ・原材料価格や諸経費の値上がり止まらない。 ・残業食の提供を取りやめる取引先企業が増えている。 ・消費者の節約志向が強まっている。
	処理牛乳・乳飲料製造業	→	↘	↗	→	→	→	↘	→	↘	・特になし。
繊維工業	ニット製造業	→	→	→	→	↘	→	→	→	↘	<ul style="list-style-type: none"> ・先行き不透明な状況に加え、中東情勢の影響が懸念される。 ・受注減少の傾向が続いている。 ・サプライチェーンのボトルネック工程によって納期が遅延している。 ・材料、燃料、資材などの値上がりにより、経費が増加している。
	絹人織織物業	→	→	→	→	↘	↘	→	→	↘	<ul style="list-style-type: none"> ・中東情勢の影響により、副資材や原材料のポリエステルが値上がりしている。加工代や輸送費も値上がりしており、製品の値上げが売上数量の減少にどれ位繋がるのか危惧している。業績悪化も予想される。
	綿・スフ織物業	↘	→	→	→	↘	↘	↘	→	↘	<ul style="list-style-type: none"> ・中東情勢の影響により、繊維関連の原材料の入荷が滞っている。また、燃料費や糊材料費等々の相次ぐ値上げにより、著しく収益が悪化している。
木材・木製品	一般製材業	↘	→	→	→	↘	→	→	→	→	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の新設住宅着工戸数は、前年同月比で大幅な減少が想定される。要因としては、昨年は改正建築基準法の施行に向けた駆け込み需要があり、大幅に増加していたことが考えられる。 ・新設住宅着工戸数の大幅な減少による木材需要の落ち込みは、木材産業関係事業者の経営環境を一段と厳しいものになっている。 ・また、中東情勢の影響によるナフサショックにより、断熱材・接着剤・樹脂製品など住宅資材の価格高騰や供給不安が続いていることで、工期の長期化や着工の延期などの不確実性が増大し、木材関係事業の先行きの不透明感が強まっている。更に、資金繰りへの懸念も広がっている。 ・ロシア材取扱木材関連事業者は、住宅需要が落ち込む中、円安の長期化や中東情勢の混乱によるコンテナ料金などの物流コストの上昇などにより、引き続き厳しい環境にある。 ・プレカット工場については、新設住宅着工数の減少が継続しており稼働率は上がっていない。
	その他の木製品製造業	→	→	→	→	→	↗	→	→	→	・特になし。

業種	項目	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備稼働率	雇用人員	業界の景況	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
印刷業	印刷業	→	→	↗	→	↘	→	→	↘	↘	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル化によるペーパーレス化の進展や、資材高騰、市場縮小により人材が獲得できず代表者の高齢化が深刻になり、事業継続を諦める印刷業者が増えている。 ・中堅印刷会社が他県業者へ事業売却するケースが1件発生している。
化学・ゴム	医薬品製造業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	<ul style="list-style-type: none"> ・中東情勢の影響により、化粧品等の原料の供給が止まっているものがある。
窯業・土石製品	生コンクリート製造業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	<ul style="list-style-type: none"> ・県全体の生コンクリート出荷数量は、前年同月比約111%と前年実績を3ヵ月連続で上回っている。
	コンクリート製品製造業	↘	→	↗	→	↘	→	↘	↘	↘	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし。
	骨材・石工品等製造業	↗	→	↗	→	→	→	→	→	→	<ul style="list-style-type: none"> ・中東情勢の影響により、トラック燃料の値上げや工場の燃料地下タンクへの給油が停止された組合員もある。 ・骨材需要は、堅調な状況が続いている。

業種	項目	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
鉄鋼・金属	銑鉄鑄物業	↘	→	→	→	↘	↘	↘	→	↘	・中東情勢の影響による資材の調達難や価格の高騰など、不安感が一層高まっている。
	銅・同合金鑄物製造業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	・特になし。
	アルミニウム製品製造業	↘	→	↗	→	→	→	↘	→	↘	・特になし。
	建築用金属製品製造業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	・中東情勢の影響により、調達コストの急増や輸送費用のアップ、材料によっては調達が困難なものもある。今後の見通しが不透明であり、長引けば業績悪化が心配される。 ・当団地組合員の令和8年度新入社員(新卒・過卒)は、11社中3社のみの合わせて10名である。
	めっき加工業	↗	→	→	→	↗	→	→	↘	→	・取引先からの製品のめっき加工依頼が増加しており、売上高は増加傾向にある。 ・資材の高騰が見られるものの、売上増加により収益状況は改善傾向にある。
一般機器	金属工作機械製造業	↗	→	→	→	→	→	→	→	→	・受注状況は良好に推移しており、景気は緩やかに回復しているが、原油・資材の高騰及び潤滑油などの供給不足が懸念されており、利益が出にくい状態である。
	金属加工機械製造業	→	→	→	→	→	→	↗	↘	↘	・特になし。
	非金属用金型製造業	↘	↘	→	→	↘	→	↘	→	↘	・車関連の業種の動きが悪い。 ・部品加工等あらゆる業種でエネルギー価格や材料費の高騰、品不足に困っている。特に、工作機械等を使用する企業は、潤滑油の供給が不透明な状況である。
電気機器	電子部品・デバイス・電子回路製造業	↗	↗	↗	→	↗	→	↗	↗	↗	・産業機器向け、民生電子機器向けともに、引き続き前年同月比で増加傾向にある。AIデータセンター向け半導体市場の盛り上がりの余波もあると思われる。 ・自動車向けは、計画通りの受注がある。加えて、自動車向け新規設備は生産ライン着工に向けて進んでいる。 ・中東情勢の影響はあまり出ていない。
輸送機器	自動車部分品・附属品製造業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	・特になし。
その他の製造業	漆器製造業	↘	→	↗	↘	↘	↘	→	→	↘	・中東情勢の影響による溶剤や塗料の品不足や値上がりについて、材料が手に入らず商品作りができない状況になりつつある。 ・組合の存続は厳しい状況である。

業種	項目	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備稼働率	雇用人員	業界の景況	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)	
卸売業	セメント卸売業	→	→	→	→	→	→		→	↘	<ul style="list-style-type: none"> ・4月は比較的天候に恵まれ工事が進捗し、前年同月比98.5%と下回っているものの順調である。 ・今後数年は、復興需要やダム関連工事等で前期並みで推移すると予想している。 	
	非鉄金属製品卸売業	↘	↗	↗	↘	↘	↘		→	↘	<ul style="list-style-type: none"> ・材料の入荷制限を心配してる。 ・材料価格の高騰を価格転嫁で対応を始める業者が増えている。 	
小売業	鮮魚小売業	↘	→	↘	→	↘	→		→	↘	<ul style="list-style-type: none"> ・売上が伸びず、全体としては依然として景気が悪く、悪化傾向である。 	
	食肉小売業	↘	→	↗	↘	↘	↘		→	↘	<ul style="list-style-type: none"> ・輸入肉、国産牛、豚肉の高値により、利益が減少している。 ・資材の高騰で、諸経費が上昇している。 	
	野菜・果実小売業	↘	→	→	→	↘	→		→	→	<ul style="list-style-type: none"> ・4月の富山卸売市場は、前年同月比で数量101%、単価103%、売上103%となっている。 ・組合員全体の売上については、前年同月比93%となっている。 ・富山市のプレミアム付き商品券について、量販店対象で小規模小売店は対象外となり、量販店の販売促進には貢献している。 	
	家庭用電気機器小売業	↘	↗	↘	→	↘	→		→	↘	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 	
	自動車小売業	→	→	→	→	→	→		→	→	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 	
	ガソリンステーション	↘	↘	↗	↘	↘	↘			↘	↘	<ul style="list-style-type: none"> ・カーボンニュートラルの進展に伴いガソリン等の需要減が見込まれることや、大手流通業者等による廉売激化、人材不足やドライバーの時間外規制など、組合員(SS)をめぐる経営環境は厳しい。更に、中東情勢の影響により、原油価格の高騰や石油製品の供給不安が続いている。 ・物価高による利用者の節約志向が響き、ガソリン販売量の減少は続いている。引き続き、需要の回復感は弱い。 ・ガソリン価格について、中東情勢の影響を受けて3月中旬には価格は急騰したものの、国の緊急的激変緩和措置により下落し、その後は落ち着いている。
	スポーツ用品小売業	↗	↗	→	→	→	→		→	→	→	<ul style="list-style-type: none"> ・売上は微弱に回復傾向にあるが、EC市場の競争激化と大型店の集客力・商品力・品揃えに対して、中小は専門特化や外商力を駆使して対策を講じ、踏み留まっている状況である。
	ショッピングセンター	→	→	↗	↘	↘	→		→	↘	↘	<ul style="list-style-type: none"> ・更なる物価高により、消費者の節約志向は益々強まっている。

業種	項目	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備稼働率	雇用人員	業界の景況	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
商店街	商店街	→	→	→	→	→	→		→	→	・観光シーズンの幕開けとともに、国内外からの観光客が目立ち始め、飲食店やブランド品を扱う洋服店・宝飾店が賑わっている。また、隣接百貨店でイベントが開催される際には、近隣駐車場も混雑している。
	商店街	↘	→	↗	→	↘	↘		→	↘	・特になし。
サービス業	情報サービス業	→		→	→	→	→		→	→	・AI需要の拡大によって、メモリの価格上昇が続いているため、今後の収益に影響が出る可能性が大きい。
	クリーニング業	↗		→	→	↘	→		→	↘	・特になし。
	飲食業	↗		↗	→	↗	→		→	↗	・夜の営業時間の来店客が増加し、売上が前年同月比で8.5%増加している。
	建築設計業	↗		→	→	→	→		→	→	・特になし。
	自動車整備業	↗		→	↘	↘	→		→	→	・4月の自動車新車新規登録・届出台数(登録車と軽自動車の合計)は、前年並みである。 ・中東情勢の影響により、自動車関連部品や油脂(エンジンオイル、ブレーキオイル、ギヤオイル等)の在庫が発注先にもない状態となっている。また、石油関連製品の発注も止まっており、自動車整備事業者は整備等が実施できるのか危機感を持って情勢を注視している。
建設業	鉄骨・鉄筋工事	↘		↘	↘	↘	↘		→	↘	・石油由来の製品の入手が難しく、物件の少ない中、受注しても塗料、シンナーの入手が非常に困難で苦労している。この状態が続けば、今受注している物件がストップする可能性があり憂慮される。
	一般土木建築工事	→		→	→	→	→		→	→	・建設資材の高騰や一部資材の入手が困難となっている。
	管工事業	→		→	→	→	→		↘	→	・各水道資材メーカーは、4月より値上げを行っており、夏頃にも値上げを行う予定と聞いている。 ・石油由来の資材入荷が滞り始めており、工事に影響が出ている。 ・景況に変化はない。
	電気工事業	↗		↗	→	→	→		→	→	・民間設備投資、住宅着工件数が停滞している。 ・中東情勢の影響により、電線価格の高騰や住宅関連のユニットバス等の納入遅れによる工期遅延が発生している。
運輸業	道路貨物運送	→		→	→	↘	→		→	→	・燃料の集荷制限により、自家タンクへの供給が厳しい状況が続いている。 ・また、自家タンク仕入れ価格が元売り各社の仕切り価格より大幅に高騰しており、供給不足に付け込んだ各販売会社の便乗値上げ的なものを感じている。
	道路貨物運送	→		→	→	↗	→		→	→	・物量は、前年同月比105.1%と好調であるが、中東情勢悪化の不透明化による駆け込み需要が要因と思われる、今後の落ち込みが心配である。